

## 1 基本理念

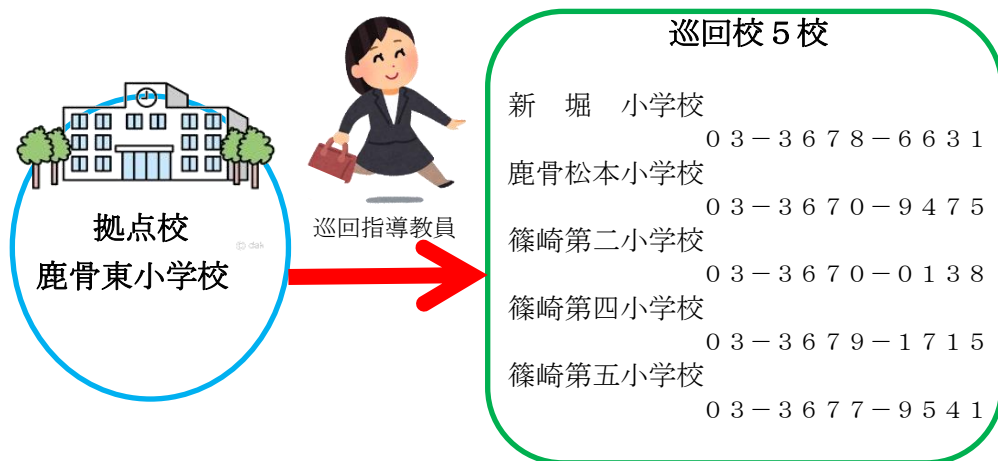
- ・学校生活(学習面・生活面)において、一人一人の教育的ニーズを把握し、在籍学級での自立を促す指導を目指します。
- ・拠点校と在籍校、家庭、地域、専門機関が連携して、充実した支援体制の実現を図ります。
- ・障害の理解を促進し、障害の有無にかかわらず、子供たちが互いを尊重し楽しみや喜びを分かち合うことのできる環境を整えます。

## 2 「特別支援教室」を活用した巡回指導

巡回指導教員が拠点校から各小学校に出向き、各校の特別支援教室を活用して、お子さんの「困り感」や障害の状態に応じた指導を実施します。

指導を受けるお子さんは、週に1～8単位時間、校内の特別支援教室で指導を受けることができます。

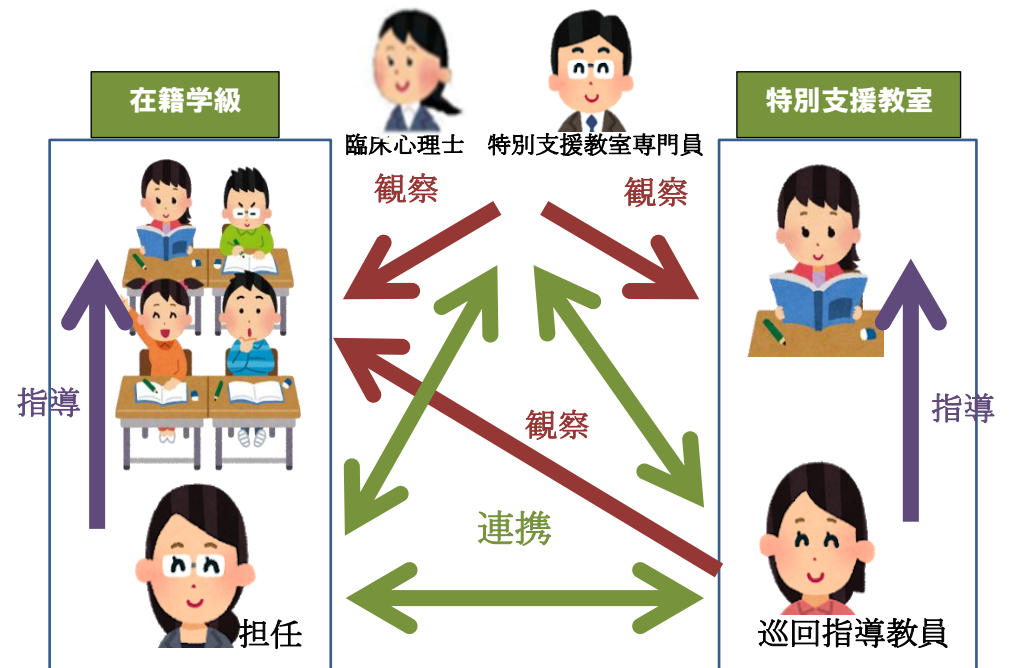
巡回指導教員は、特別支援教室で指導するとともに、在籍学級での支援も行います。



## 3 対象児童

対象は、通常学級に在籍し知的な遅れはないが、一部特別な指導を必要とする児童（発達障害等の診断を受けているお子さん等）です。保護者の方との合意に基づき、各小学校の校内判定委員会を経て、区教育委員会が決定します。

## 4 指導体制



## 5 学習内容

児童が学習や生活面で抱えている困難（困り感）の改善又は克服を目的とする「自立活動」を行います。対象児童が可能な限り多くの時間、在籍学級で他の児童と共に有意義な学校生活を送ることができるようにすることを目指します。そのために、一人一人の児童の特性を考慮して作成する「個別指導計画」に基づいた「個別指導」を行います。

※「個別指導計画」とは別に「学校生活支援シート」も作成します。指導や支援の成果、児童の変化、有効であった支援、関連機関などについて、保護者と在籍学級担任が確認して卒業後の進路先に引き継いでいくものです。

お子さんの特性等(例)	指導・支援の内容(例)
コミュニケーションがうまく図れない。相手の立場に立って考えることが難しい。	適切な会話ができるようになるための指導や物語の登場人物の気持ちを考えるなどの指導
集中し続けることが難しい。授業中席を離れたり、質問が終わらないうちに話したりするなどの行動をとってしまう。	いくつかの情報の中から、必要なものに注目できるような指導や順番に人の話を聞くなどルールに従って行動できるようにするための指導
音読が苦手である。書くことが苦手である。計算が苦手である。	自分に合った学習方法を習得し、その方法を取り入れて学習ができるようになるための指導

## もみのき

### 特別支援教室 要覧



拠点校：江戸川区立鹿骨東小学校 もみのき教室  
〒133-0073 江戸川区鹿骨3丁目7番1号  
もみのき教室 電話・FAX 03-5243-1499  
学校 電話 03-3677-8541  
FAX 03-3676-3695